

平成14年度小学校ジョイフル英語学習実践事例

小学校名	可茂地区小学校	対象学年	低学年	実施時期	12月								
題 材 名	かたちであそぼう												
主 な 表 現 補 助 資 料	I see a triangle. (circle, star, rectangle, heart, square) 形を表す絵カード、テキスト(英国版)、付属CD												
本時の目標	"I see a star." "Yes./No."という表現や形を表す語を使いながら、Shape Museum(「形の展覧会」)ゲームをすることができる。												
学 習 活 動	教師の指導・援助			留 意 点									
<p>復習 形を表す既習の表現 (triangle, circle, star, rectangle, heart, square) を復習する。</p> <p>新しい表現の練習 新しい文の紹介を聞く。 "I see a <u>triangle</u>. (circle, star, rectangle, heart, square)" CDに続いて言ったり、指示された物の絵を指さしたりする。</p> <p>Shape Museum(「形の展覧会」)ゲームを行う。 ゲームのやり方を理解する。 ・クラスで半分ずつに分かれる。 ・Aチームは立ってBチームの方を向く。体、手、指などを使って学習した形の一つを作る。 ・Bチームは形を当てる。教師から指名された一人がAチームの一人を指さし、 "Yukio, I see a star." と言う。 ・呼ばれた児童は形と英語が当たっていたら "Yes."と答えて座る。違っていたら "No."と答えて、そのまま立っている。 ・当たったらAチーム、Bチームのそれぞれ一人ずつが同時に座ることができる。 ゲームを行う。 はじめにA B、続いてB Aの順に行い、より早く座れるように活動に取り組む。</p> <p>がんばったことを認め合う。 自分や友達の学習ぶりについて次の点から発表する。 ・初めて知ったこと、分かったこと ・楽しかったこと ・聞き取れたこと ・大きな声で</p>	<p>A: 発音のモデルを示すとともに、繰り返すことを促す。 J: 児童と一緒に発音する。</p> <p>A: 発音のモデルを示すとともに、繰り返すことを促す。 J: 「三角が見えます」という意味を説明する。</p> <p>A: ゲームのやり方をJTEとともに実演しながら説明する。 J: 必要な場合には日本語で補足説明をする。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○ ○ ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○ ○ ○</td> </tr> </table> <p>A: 活動のモデルを示すようにゲームに参加する。児童数が奇数の場合は人数の少ない方のチームに入る。 J: 答える児童を指名し、座れたペアの声の大きさやジェスチャーの分かりやすさを価値付ける。</p> <p>A&amp;J: 児童のがんばった姿について、評価内容を分担して認め励ます。 ALT: 表現のよさ(ジェスチャー、声の大きさ等) JTE: 意欲・積極さ、友達とのかかわり方</p>			A	B		○ ○ ○		○ ○ ○		○ ○ ○	<p>絵カードを用いて、リズムよく繰り返す。</p> <p>テキストの絵と絵カードを使って表現を視覚的に補足する。</p> <p>CDの音声に慣れさせるとともに、同じ文でも違う人が話すと違って聞こえたり、聞き取れなかったりすることもあるに気付かせる。</p> <p>英語の音や表現に慣れさせるために、まずALTが英語で説明をする。その際、児童からも多く表現させることを大切にする。また、形を作るAチームは、上手に形を作ると早く呼んでもらって座ることができることを理解させ、より早く座ることに対する意欲化を図る。</p> <p>形の言い方を間違えた児童に対しては十分に配慮し、間違えたことを恥ずかしく思わないような雰囲気教師が率先してつくる。 また、座っている児童は、周りの児童の応援をするように指示するとともに、児童全員が座ることができるよう、意図的な指名を行う。</p> <p>必要に応じて個人名を挙げたりして、どの場面のどんな姿がよかったかを価値付ける。 また、英語の表現について評価する場合は、「覚えること」や「正しく言える」とうことに児童の意識が向かわないように留意する。</p>	
A	B												
	○ ○ ○												
	○ ○ ○												
	○ ○ ○												